

江崎 貴大 議員

無会派



問 基幹相談支援の機能強化を

答 地域課題解決への取組を推進

問 基幹相談支援センター運営上の課題は。

答 (健康福祉部長) 他の相談支援事業所との役割分担がうまく機能できていない。

問 総合的・専門的な相談支援の現状は。

答 マンパワーが不足している。

問 自立支援協議会との関わりは。

答 協議会が果たすべき機能の理解が深まるよう、継続的に支援を行っている。

問 協議会を通じた関係機関との関係強化は。

答 運営会議等における機能の活性化を課題に掲げ、関係機関との連携強化に努める。

問 協議会を通じた地域課題の抽出は。

答 各部会で課題解決に向けた議論を深め、全体会で施策提案することがあるべき姿。

問 協議会に今後どう関与していくのか。

答 基幹相談支援センターが事務局を担うよう進めていきたい。

問 課題を抱える人にも対応できるアウトリーチの体制整備は。

答 重要と考えている。

問 今後さらに強化すべき機能や役割は。

答 関係機関から情報を吸い上げ、地域課題の可視化や課題解決につながる取組を推進する役割を担う。



問 障がいのある方への就労支援は

答 相談窓口の周知に努める

問 就労選択支援の導入に向けての準備は。

答 (健康福祉部長) 圏域会議で課題や情報の共有を行う予定。

問 「障がいのある方のための就業相談窓口」から就労につながった事例は。

答 一般企業の障害者枠への就職につながった例が6件。

問 企業からの相談状況は。

答 障がい者雇用を進めたいという内容で1件。

問 関係機関との連携体制は。

答 自立支援協議会の就労部会を中心に「障がいのある方たちのはたらくフェア」を開催。一般企業の参加促進が現状の課題。

問 今後、相談窓口の活用促進にあたり、具体的な対策は。

答 チラシの配布、市広報誌への継続的な掲載など。

問 特別支援学校の生徒を実習や校外学習活動として受け入れる考えは。

答 人事部局と連携し、校外学習活動について情報共有していきたい。

問 「生活する場」となるグループホームの整備状況の認識と、今後の支援策は。

答 ニーズに対して整備が追いついていない。整備促進に資するよう事業者を支援していきたい。



▲就業相談窓口チラシ